

競 技 注 意 事 項

今後、新型コロナウイルス感染症の影響で、競技運営および安全確保に支障をきたす不可抗力事態が発生した場合や発生する恐れがある場合は必要に応じて大会中止とする。中止となる場合は、一般財団法人新潟陸上競技協会ホームページ等で告知する。

本大会参加者は「2022年度日本陸上競技連盟競技規則及び陸上競技活動再開のガイドライン」（以下：ガイドライン）に従い行動すること。参加者（競技者、監督・コーチ、チーム関係者すべて）は、「テレサー体温記録活用アプリ」での体調報告、若しくは体調管理チェックシートの当日提出を義務付けとする。

大会主催者は、大会前や当日に発熱や体調不良が確認された場合、該当競技者の出場を認めない場合がある（詳細はガイドラインに記載）。

1 競技規則について

本大会は2022ワールドアスレティック規則並びに2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

2 練習会場等について

(1) 練習は指定された練習場で係員の指示により行うこと。

会 場	8日(金)	9日(土)	10日(日)
本競技場	14:00～17:00	8:00～10:20	8:00～10:20
補助競技場/屋内練習場		8:00～16:00	8:00～17:00

(2) レーンの使用は下表のとおりとする。※8日(金)についてはレーン制限を設けない。

レーン	短距離	中長距離周回	ハードル	リレー
H&B:1・2		○		
H:3～6、B:5・6	○			
B:3・4				○
H&B:7・8			○	

(3) 屋内練習場はトラック競技のみ使用できる。(ハードル練習も可)

(4) 本競技場での投擲練習は、砲丸投げを除き禁止する。やり投・円盤投・ハンマー投は助走やターン練習のみとする。

(5) ミニハードルやメディシンボールなどの練習器具を持ち込んでの練習を禁止する。(リレーのバトンを除く)

3 招集について

(1) 招集所は、本競技場100mフィニッシュ近くに設ける。 ※男女棒高跳のみ現地(バックピット)

(2) 種目別招集開始・完了時刻は、競技順序に記載した通り。

(3) 招集の方法

- ① 競技者は招集開始時刻前に、招集所で待機し、係員から点呼を受ける。その際、ユニフォームのアスリービブスと競技用スパイク及びシャツ・バック等の商標について点検を受ける。
- ② トラック競技に出場する競技者は、腰ナンバー標識を係員から受け取る。
- ③ 招集は必ず本人が行うこと。ただし、多種目同時出場により招集を受けることが難しい場合、最初の競技招集前に多種目出場届け(招集所に置いてある)を招集所に提出すること。
フィールド競技の途中でトラック競技に出場する競技者は、競技開始前にその旨を申し出ること。
- ④ リレーに出場するチームは所定の「リレーオーダー用紙」(招集所に置いてある)に記入し、1枚招集所に提出する。
締切時刻は招集完了時刻の1時間前とする。提出後の変更は負傷等の場合を除き認めない。
- ⑤ 招集完了時刻に遅れた競技者は当該種目を棄権したものとする。

4 アスリートビブスについて

(1) アスリートビブスは主催者が配布したものを使用し、配布された大きさのままユニフォームに結着すること。

(2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバー標識を競技者係より受け取り、パンツの右やや後方に取り付ける。3000m以上の競技に出場する選手は胸ナンバー標識を競技者係より受け取り、ユニフォームに取り付ける。

(3) 跳躍競技の競技者のナンバーカードは背部または胸部のみでもよい。

5 ユニフォーム及び携行品の商標について

日本陸上競技連盟制定の「競技会における商標及び展示物に関する規定」に従うこと。

規定に抵触している場合は、是正を求めるので従うこと。

6 競技用シューズについて

競技者が使用するシューズ(スパイク、ランニングシューズ含む)についてはWAテクニカルルールTR5を適用する。

※詳細は日本陸連HP参照(<https://www.jaaf.or.jp/about/resist/technical/>)

種 目	フィールド種目 (除:三段跳)	三段跳	トラック種目 (800m未満の種目、ハードル種目含む)	トラック競技 (800m以上の種目、障害物競走含む)
ソールの最大厚さ	20mm	25mm	20mm	25mm

7 競技および競技方法について

(1) 不正スタートについて

一度の不正スタートでも責任を有する競技者は失格とする。

(2) レーン競技では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーンを走ること。

(3) リレー競走においてマーカーを使用する場合、各チームで準備し、除去についてはそのチームが必ず行うこと。

- (4) 競技に使用する用器具は主催者が用意したものを使用しなければならない。
投てき用具の持ち込みを希望する者は、競技開始1時間前までに競技場正面検査場にて検定を受けること。
持ち込みは1人2つまでとする。検定に合格した用具は一括借り上げとし、参加競技者で共有できるものとする。
返却は競技役員の指示に従うこと。
- (5) フィールド競技における練習は、すべて競技役員の指示に従うこと。
- (6) 三段跳の踏切板の位置については、男子は12m、女子は9mとする。ただし、状況によっては審判長の判断により変更する場合がある。
- (7) 競技中における助力は「日本陸上競技連盟競技規則第6条TR6」に従い規制される。これに抵触の場合は、審判長から注意・勧告するが、是正されない場合はその種目から除外される場合がある。
競技中の競技者に対するアドバイスは、スタンド内で行うこと。

8 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について(天候等の状況により変更する場合もある。)

種目		練習	バーの上げ方
走高跳	男子	1m75、2m00	1m80 - (5cm刻み) - 2m00 - 以降3cm刻み
	女子	1m40	1m45 - (5cm刻み) - 1m65 - 以降3cm刻み
棒高跳	男子	任意の高さ	4m00 - (10cm刻み) - 5m20 - 以降5cm刻み
	女子	任意の高さ	2m80 - (10cm刻み) - 3m80 - 以降5cm刻み

9 新型コロナウイルス対策について

- (1) 選手及びコーチなどチーム関係者は競技場正面テント内で検温を受けること。
- (2) 当日検温で37.5℃以上の場合、参加を認めない場合がある。
- (3) 来場にあたってマスクを着用しウォーミングアップ中及び競技中を除いてはマスクを着用すること。
- (4) 各所備え付けのアルコールで下記に従って手指消毒をすること。
【トラック種目】スタート前およびフィニッシュ後 【投てき種目】投てき物を持つ前 【跳躍種目】毎試技前後
- (5) 休憩待機所、練習場・招集所等については競技役員の指示に従い、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- (6) 飛沫拡散を防ぐため、声を出しての応援および近距離での会話を避けること。
- (7) 競技会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、北陸実業団陸上競技連盟(0776-97-6690)に報告すること。

10 競技場内への入退場について

- (1) 競技場への入退場は、全て競技役員の指示により行う。
- (2) 競技終了後は競技役員の指示に従い、第2ゲートから退場する。正面スタンド前の通行は禁止する。

11 欠場届について

本大会申込完了後に欠場する競技者は、本大会規定の「欠場届」を提出する。

【欠場届の提出方法】※全種目対象 実業団選手のみ

- (1) 4月5日(火)までに届ける場合はFAXもしくはメールにて受け付ける。
- (2) 4月6日(水)以降はメールにて受け付ける。
- (3) 大会期間中は招集所にて受け付ける。

※E-mail:iwakoshi@mx6.fctv.ne.jp FAX:0776-97-6691

※メールタイトルを【北実欠場届_チーム名称】とすること。

- (4) 提出日時は、大会申し込み後から大会当日の各種目競技開始2時間前までとする。
- (5) 次ラウンド進出後の欠場の場合も、速やかに提出すること。
- 欠場が確定している場合は、期日にかかわらず速やかに「欠場届」を提出すること。

12 競技の抽選並びに番組編成について(走路順・試技順)

- (1) トラック競技の走路順、フィールド競技の試技順は主催者が抽選で決定し、プログラム記載の競技者番号の左に数字で示す。
- (2) トラック競技で予選を行う種目は次のラウンドの組合せ・走路順についてはアスリートランキングに掲載する。
- (3) トラック競技での次のラウンドに進む競技者のプラスアルファの決定は、写真判定主任が0.001秒の実時間を考慮し決定する。結果、同成績がいる場合は抽選によって決定する。
- (4) 次のラウンド進出が着順と時間で決定される場合において、着順で決める最後の1枠が同成績であったときは同成績者を次のラウンドに進出させ、時間に基づいて次のラウンドに進出を認める競技者の数を減らすものとする。

13 抗議・上訴について

- (1) 競技の結果または競技進行中に起きた競技者の行為に関する抗議は、競技結果がアナウンスで正式発表されてから、競技規則第146条2及び第146条2[国内]に定められた時間内にその競技者または代理人が担当総務員を通して審判長に対して口頭で抗議を行う。
- (2) さらに、審判長の裁定に不服の場合は預託金(1万円)を添え、担当総務員を通して Jury に文書で申し出る。(競技規則第146条7)

14 ドーピングコントロールテストについて

ドーピングコントロールテストはJADAおよびJAAFの規則に従い実施するので、係員より指名された競技者はテストを受検すること。

(1) 国際陸上競技連盟アンチ・ドーピング規則および規定、もしくは日本アンチ・ドーピング規程に基づいて行われる。尚、本大会の前もしくは後のドーピング検査では、尿又は血液（或いは両方）の採取が行われる。該当者は指示に従って検査を受けること。競技会時、ドーピング検査の対象となった場合、顔写真付きの身分証明書が必要となる。顔写真の付いた社員証、運転免許証、顔写真が鮮明なパスポートコピーなどを持参すること。

(2) TUE申請

禁止表国際基準で定められる禁止物質・禁止方法を病気の治療目的で使わざるを得ない競技者は“治療使用特例(TUE)”の申請を行わなければならない。詳細については、日本陸上競技連盟医事委員会のHP(<http://www.jaaf.or.jp/medical/index.html>)、又は日本アンチ・ドーピング機構HP(<http://www.playtruejapan.org/>)を確認すること。

15 表彰について

表彰式は行わないこととするが、下記の選手は正面エントランスに賞状等を取りに来ること。

- (1) 2022HOKURIKUスタートアップ競技会の優勝者ならびに2～3位には賞状を授与する。
- (2) 北陸実業団選手権大会の優勝者には選手権章を授与する。

16 一般連絡・注意事項

(1) 受付は競技場正面テント内で行い、規定の手続き後、リストバントを受け取り、競技場内を移動する際は必ず着用すること。

	8日(金)	9日(土)	10日(日)
受付時間	14:00～17:00	8:00～15:00	8:00～15:00

- (2) 衣類の広告に関する規定については、「競技会における広告および展示物に関する規定」に従い、違反に対しては、主催者において処置する。表彰を受ける際もこれが適用される。
- (3) 更衣室は競技場内シャワールームの使用を認める。更衣のみに使用し、荷物は各自で管理すること。
- (4) スタンド最前列には、応援旗・部旗・横幕・のぼり等を取り付けないこと。
- (5) 本競技場内でのテントの設営はメインスタンド上段のみとする。また、競技場外は指定場所のみとする。
- (6) 応援は競技運営に支障のないように行うこと。
- (7) 競技結果はアナウンス及びアスリートランキングで行う。
- (8) 応急処置を要する場合、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡すること。
- (9) 競技場での疾病、傷害などの応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (10) 大会期間中の貴重品の保管は、各自が責任を持って行うこと。
- (11) スパイクシューズを履いたまま競技場施設(スタンド等)には入らないこと。
- (12) 遺失物については、本部で保管する。(大会終了後1週間程度で破棄する。)
- (13) 記録証明書を希望する競技者は、庶務係(受付にある「記録証発行申請書」)に必要事項を記入し、500円(郵送料含む)を添えて込むこと。
- (14) 撮影を希望する者は受付に申込み、許可をえること。
- (15) 大会関係者が撮影した、写真・ビデオは主催者の北陸実業団陸上競技連盟に使用権限があり、SNSなど情報発信に使用する場合がありますのでご了承ください。
- (16) メインスタンドのみ開放する。
- (17) 実業団選手の控え室は会議室3・4とする
- (18) 選手・コーチなどチーム関係者の駐車場は競技場周辺の有料駐車場とする。
- (19) ゴミ箱は設置しない。各自持ち帰ること。
- (20) 提出書類等については、下記の通りとする。

	提出書類	提出先	提出時間
1	欠場届	競技注意事項の「11欠場届について」参照	
2	2種目同時出場届	招集所	第1種目の招集開始時刻10分前まで
3	リレーオーダー用紙	招集所	招集完了時刻の1時間前(2日目以降実施種目は前日も受ける)
4	棒高跳支柱移動届	招集所(現地)	競技開始時に口頭で競技役員に申告すること。
5	抗議申し立て (口頭)	審判長	正式記録発表後(当日次のラウンドがある場合) 15分以内 正式記録発表後(翌日の場合) 30分以内
6	上訴申立書 (文書)	招集所	審判長公式発表後(当日次のラウンドがある場合) 15分以内 審判長公式発表後(翌日の場合) 30分以内
7	記録証発行申請書	庶務係	競技終了後随時
8	プログラム訂正届	本部総務員	9日(土)10:00まで

17 棒高跳びポール輸送先

輸送する選手は責任を持って往復とも各自対応すること。

新潟市陸上競技場 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地1 TEL:025-266-8111

18 大会主催者の免責事項

- (1) 本大会は競技者及び審判員に対する団体総合補償(保険)に加入する。但し、引率と指導者は対象外となる。
- (2) 死亡・後遺障害:117万円 入院(1日180日限度):1,500円 通院(1日90日限度):1,000円
- (3) 対象期間は4月9日(土)から4月10日(日)
- (4) 大会主催者は競技会に関わる全ての人の感染に対していかなる責任も負わない。

19 医療機関

新潟市民病院 新潟市中央区鐘木463-7 TEL 025-281-5151